件 名: (仮称)湯田PAスマートインターチェンジについて

担当課: 都市整備部 道路河川建設課 道路担当 (電話:083-934-2838)

令和2年1月29日

山 口 市

西日本高速道路株式会社

E2A 中国自動車道 湯田温泉スマートインターチェンジが 令和2年3月21日(土)に開通します

名称は「湯田温泉スマートインターチェンジ」に決定しました ペイ 想施設名称も「湯田 P A 」から「湯田温泉 P A 」に変更します~

本市及びNEXCO西日本中国支社が進めてまいりましたE2A中国自動車道湯田温泉スマートインターチェンジ(IC)が、令和2年3月21日に開通します。

名称は「湯田温泉スマートインターチェンジ(IC)」に決定し、この開通と同時に休憩施設名称を「湯田パーキングエリア(PA)」から「湯田温泉パーキングエリア(PA)」に変更します。

1. 開通日時

令和2年3月21日(土) 15時00分

※開通式典については、主催者である本市から、改めてお知らせします。

2. 湯田温泉スマートICの概要

設置場所:山口県山口市吉田(E2A 中国自動車道 山口IC~小郡IC間)

※スマートICへのアクセス道路:市道 湯田パーキング線

※E2A 中国自動車道の山口IC~小郡IC間の延長は 12.7kmですが、湯田温泉スマートICの開通により、山口IC~湯田温泉スマートIC間が 6.0km、湯田温泉スマートIC~小郡IC間が 6.7 kmとなり、高速道路が使いやすくなります。

【事業概要】

事業主体:山口市、NEXCO西日本

利用時間:24 時間

出入方向:全方向利用可能

対象車種:ETC車載器を搭載した全車種

※ただし、車長12メートルを超える車両は除く

3. 事業の経緯

平成 26 年 6 月 27 日 (仮称)湯田 PA スマートインターチェンジ地区協議会設立 平成 26 年 8 月 8 日 国土交通大臣から山口市長に対し連結を許可 平成 26 年 9 月 9 日 工事着手

4. 期待される整備効果

期待される整備効果については、別紙のとおりです。

5. 利用上の注意点

- ・湯田温泉スマートICは、ETC専用です。必ずETCカードを車載器に挿入して通行してください。 ※ETC車載器を搭載していない車両が、誤ってスマートICに進入した場合は、バックをせず戻る ことができるようになっており、より安全にご利用になれます。
- ・湯田温泉スマートICでは、車両が停止した状態でなければ開閉バーが開きません。ETCゲートの前で必ず「一旦停止」し、バーが開いてから通行してください。
- ・湯田温泉スマートICは、近接する小郡料金所にて管理しており、係員は常駐しておりません。ご利用の際、ご不明な点がございましたら、インターホンなどをご利用のうえ、お申し出ください。係員がご案内します。

6. 通行料金

湯田温泉スマートIC⇔各IC間の主な区間の料金(ETC 通常料金)

(距離:km,料金:円)

料金所名	距離	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車
広島	135.1	3,050	3,680	4,300	5,960	9,820
徳山東	50.0	1,250	1,520	1,790	2,400	3,890
防府西	17.8	550	650	740	960	1,490
山口南	7.5	330	370	410	500	720
千代田	144.5	3,050	3,770	4,500	6,120	10,000
徳地	26.0	730	870	1,010	1,330	2,100
山口	6.0	290	330	360	430	610
小郡	6.7	310	350	380	460	660
美祢	24.8	700	840	970	1,270	2,010
下関	66.7	1,610	1,970	2,330	3,140	5,130
福岡	144.4	3,050	3,770	4,490	6,120	10,000

※割引適用条件を満たすことによりETC割引などの各種割引の適用があります。

令和2年1月山口市長定例記者会見 記者発表資料

この件に関するお問い合わせは、

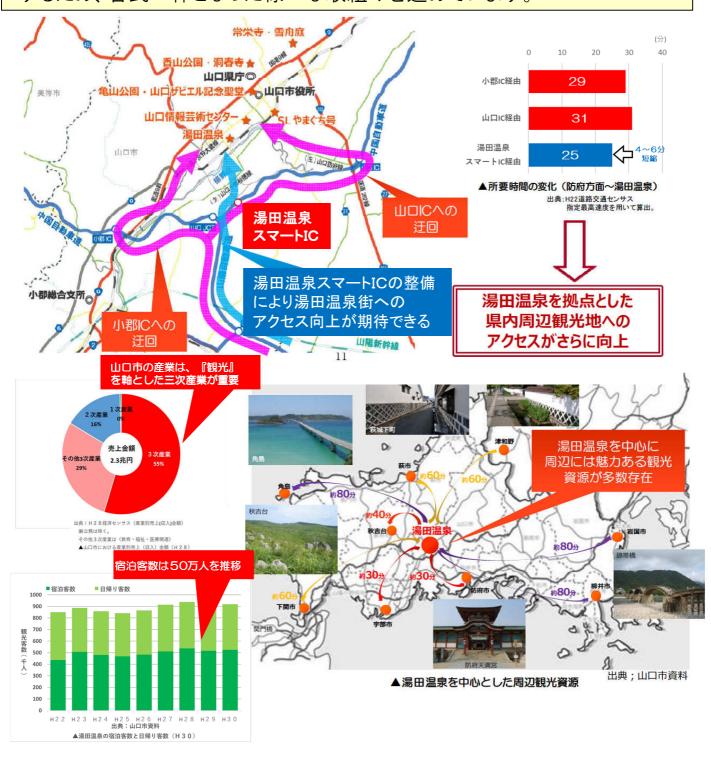
山口市 道路河川建設課 道路担当 TEL:083-934-2838

NEXCO西日本 中国支社 広報課 担当/生田、松元、景山、鹿岡 TEL:082-831-4438(マスコミ専用)

※本資料は、山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町記者クラブ、山口市政記者クラブにお配りしています。

整備効果① 観光の利便性向上による地域活性化

- ・湯田温泉スマートICの設置により、高速道路を利用した湯田温泉街へのアクセス向上にも寄与し、湯田温泉を中心とした周辺観光との周遊・連携ネットワークが形成されることにより、滞在型周遊観光の促進による地域活性化が期待されます。
- ・山口市では湯田温泉の宿泊収容力を活かし、『滞在型周遊観光』を促進するため、官民一体となった様々な取組みを進めています。



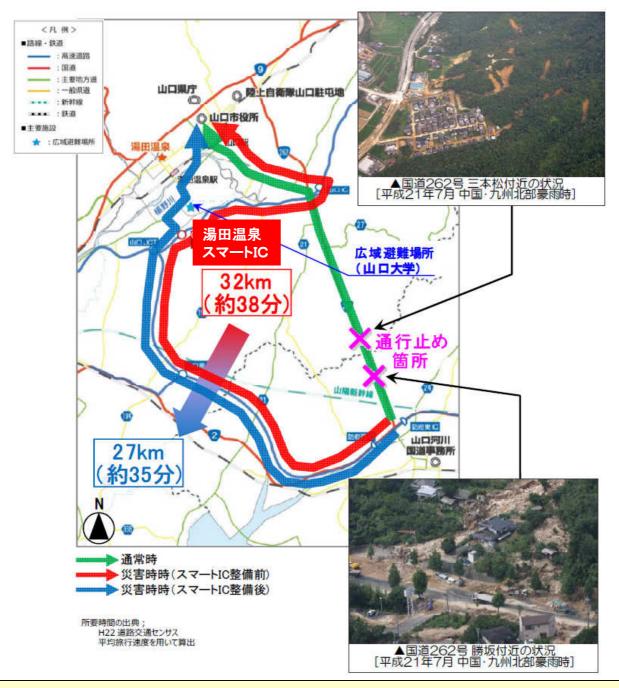
整備効果② 地域間交流の促進による地域活性化 (コンベンション機能等の強化)

- ・湯田温泉スマートICの設置により、利便性やアクセス性が向上し、イベントやコンベンション開催地としての優位性が一層高まることが期待されます。
 - ※山口大学へのアクセス時間は、下関・九州方面からは約6分短縮され、 広島・近畿方面からは約8分短縮されます。
 - ※湯田温泉街周辺には、山口市民会館、山口情報芸術センター、維新百年記念公園、山口大学など、
 - イベントやコンベンション機能を持つ施設が多く立地しています。

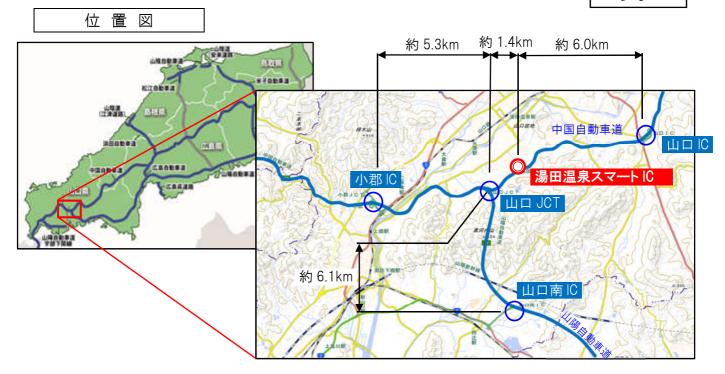


整備効果③ 災害時のリダンダンシーの確保と機能の向上

・湯田温泉スマートICの設置により、防府方面と山口市街地方面とのリダンダンシー機能の向上が図られます。また、湯田温泉スマートIC直近には広域避難場所である『山口大学』が位置し、湯田温泉スマートICを活用した多様な教済活動の支援も期待されます。



『平成21年7月中国·九州北部豪雨』では、防府市~山口市間を連絡する国道262号が通行不能となり、防府市~山口市間は、大幅な迂回を強いられました。



平面図

